

政策番号	17	政策分野	保健衛生・医療
------	----	------	---------

基本方針	すべての市民が健やかにくらするように、市民ひとりひとりが主体的に心身の健康づくりに取り組みめるような環境を整えるとともに、健康意識の向上を図る。また、市民の健康を守り支えるため、適切な保健医療サービスが受けられる体制を構築するとともに、健康づくり活動の育成を促す生活環境の整備を行う。さらに感染症等の市民の健康を脅かす危機が生じた際に迅速・的確に対応できる体制を確立する。
------	--

担当局	保健福祉局	共管局	
-----	-------	-----	--

政策に関係する 主な分野別計画等	京都市民健康づくりプラン（第2次）、京都市たばこ対策行動指針（第2次）、京都市口腔保健推進行動計画、健康長寿のまち・京都食育推進プラン、きょういのちほっとプラン—京都市自殺総合対策推進計画—、地方独立行政法人京都市立病院機構年度計画、京都市病院事業改革プラン、第2期京都市食の安全安心推進計画
---------------------	--

政策の評価

1 客観指標評価

政策の客観指標評価		23年度 評価値	32年度 目標値	27 年度	28 年度	29年度評価				
						前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1	40～64歳男性の日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合（％）	43.2	51.0	-	-	43.2	43.2	44.5	97.1%	b
2	40～64歳女性の日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合（％）	45.4	52.0	-	-	45.4	45.9	46.5	98.7%	b
3	65歳以上男性の日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合（％）	57.5	66.0	-	-	57.5	56.1	58.9	95.2%	b
4	65歳以上女性の日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合（％）	57.7	63.0	-	-	57.7	55.3	58.6	94.4%	b
				a	a					b

施策の客観指標評価		評価		
施策番号	施策名	27年度	28年度	29年度
1701	市民の健康づくり活動の推進(2指標)	a	a	a
1702	保健医療サービスの充実(1指標)	a	a	a
1703	食や生活環境の安全・安心の確保(2指標)	e	c	b
1704	健康危機に対する安全・安心の確保(2指標)	c	c	b
(4施策平均)		b	b	a

政策の客観指標総合評価		27年度	28年度	29年度
(政策の客観指標評価:施策の客観指標評価＝1:0.5)		a	a	a

2-1 市民生活実感評価

番号	設問	評価		
		27年度	28年度	29年度
1	正しい情報を基に、健康づくりに取り組むひとが増えている。	b	b	b
2	利用しやすく頼れる医療や検診の機関がある。	b	b	a
3	安心して食べられる食品が手に入るなど、衛生的な生活環境が整っている。	b	b	b
4	公共の場では禁煙が進んでいる。	a	a	a
5	感染症や食中毒等の健康危機に対し、安全と安心が確保されている。	b	b	b

政策の市民生活実感調査総合評価		a	a	a
-----------------	--	---	---	---

2-2 政策の重要度(27政策における市民の重要度)

27年度		28年度		29年度	
順位	％	順位	％	順位	％
7	87.0%	5	87.4%	3	88.2%

3 総合評価

A	政策の目的が十分に達成されている		
【客観指標総合評価】 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。		28年度	A
【市民生活実感調査総合評価】 ☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。		27年度	A
【総括】 ・市民の実感としては全体としてかなり肯定的に評価され、客観指標についても昨年度と同様高い評価を維持している。 ・こうしたことを総合的に勘案し、政策の目的は、十分に達成されていると評価する。			

今後の方向性の検討

<この政策を構成する施策とその総合評価(客観指標評価+市民生活実感評価)>

施策番号	施策名	総合評価		
		27	28	29
1701	市民の健康づくり活動の推進	B	B	B
1702	保健医療サービスの充実	B	B	A
1703	食や生活環境の安全・安心の確保	C	B	A
1704	健康危機に対する安全・安心の確保	B	B	B

<今後の方向性>

①市民の健康づくり活動の推進

本市における健康づくりについては、市民の健康寿命を延伸し、平均寿命に近づけることを全体目標として掲げる「京都市民健康づくりプラン(第2次)」(平成25年3月策定)及び各分野別行動指針に基づき関連する取組を推進してきた。(平成29年度:「京都市民健康づくりプラン(第2次)」の現状と到達点の評価、見直し及び各指針の改定予定)

平成28年度からは、年齢を重ねても、ひとりひとりのいのちが輝き、地域の支え手としても活躍できる、活力ある地域社会の実現を目指す「健康長寿のまち・京都」の取組を本格的に実施し、現在104もの幅広い団体等が参画する「健康長寿のまち・京都市民会議」の主導の下、本市と連携し、「健康長寿のまち・京都」の実現に向けた理念の普及、「健康長寿のまち・京都 いきいきポイント」の実施、「健康長寿のまち・京都いきいきアプリ(仮)」の開発、さらに、地域の関係団体と連携して、身近な地域で健康づくり事業(アウトリーチ)を実施していく。

②保健医療サービスの充実

・地方独立行政法人京都市立病院機構では、市民のいのちと健康を守る自治体病院として、以下の役割を果たしていく。

・市立病院では、第1期中期目標期間で達成した医療機能の充実を活用し、政策医療を中心に高度な急性期医療を提供する。

・京北病院では、市立病院との一体的運営を進めるとともに、訪問診療・訪問看護の展開による在宅医療機能の強化等、引き続き、地域に根差した医療・介護を提供する。

③食や生活環境の安全・安心の確保

・生食肉や食品等の放射能汚染、また、社会問題化した冷凍食品の農薬混入事案や廃棄食品の不正流通事案等の事件・事故の発生により、食の安全安心に対する市民の関心は一層高まっているため、食品事業者だけでなく、市民一人一人の食の安全安心に対する意識向上、正しい知識の普及啓発を行い、安心できる食生活の実現を目指す。

・参加型リスクコミュニケーション事業については、市民等の食の安全安心に関する理解を促進するため、内容や伝達方法を工夫し、目的や対象に応じて効果的な形で推進していく(子供向けの事業では、「育てる側」の保護者にも併せて啓発する等)。

・また、学校における喫煙防止教育の実施など、教育委員会と連携した取組や、禁煙推進に取り組む民間団体との連携、共汗融合の観点から総合的な施策の推進による、生活環境の向上を目指す。

④健康危機に対する安全・安心の確保

・腸管出血性大腸菌などの感染症や食中毒等が実際に生じた際には、市内の医療機関等との連携により迅速・的確な予防とまん延防止の取組を進める。また、予防接種の勧奨、手洗い及びうがいの励行等の予防方法についてネット配信、啓発チラシを通して広く市民や関係団体へ周知し、インフルエンザの感染拡大防止に努めていく。

政策名	17	保健衛生・医療			
指標名	40～64歳男性の日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合（％）				
担当部室	健康長寿のまち・京都推進室		連絡先	2 2 2－3 4 1 9	
1 指標の説明					
特定健診において、日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施していると回答した市民の割合					
2 指標の意味			3 算出方法・出典等		
生活習慣の改善による健康づくりの成果を示す指標			算出方法：京都市国民健康保険特定健康診査受診者実績から、日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施していると回答した市民の割合 出典：事業担当課調べ		
4 数値					
10年後の(平成32年度)目標値	平成23年度評価値	平成32年度目標値	根拠		
	43.2	51.0	京プラン実施計画 第2ステージ		
	前回数値 26年度	最新数値 27年度	推移	単年度目標値	
				数値	根拠
数値	43.2	43.2	増減なし	44.5	平成32年度目標値の達成に向け、中長期目標から各年度の目標を等差的に設定（毎年度1.3%改善）
	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
				根拠	
数値		51	32年度	84.7%	京プラン実施計画 第2ステージ
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：95%以上～100%未満 c：90%以上～95%未満 d：85%以上～90%未満 e：85%未満			目標達成度100%以上をa、以下5%刻みで基準を設定した。（27年度44.5％、28年度45.8％、29年度47.1％、30年度48.4％、31年度49.7％、32年度51.0％）		27
					28
					29
					-
					-
					b

指標名	40～64歳女性の日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合（％）				
担当部室	健康長寿のまち・京都推進室		連絡先	2 2 2－3 4 1 9	
1 指標の説明					
特定健診において、日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施していると回答した市民の割合					
2 指標の意味			3 算出方法・出典等		
生活習慣の改善による健康づくりの成果を示す指標			算出方法：京都市国民健康保険特定健康診査受診者実績から、日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施していると回答した市民の割合 出典：事業担当課調べ		
4 数値					
10年後の(平成32年度)目標値	平成23年度評価値	平成32年度目標値	根拠		
	45.4	52.0	京プラン実施計画 第2ステージ		
	前回数値 26年度	最新数値 27年度	推移	単年度目標値	
				数値	根拠
数値	45.4	45.9	0.5ポイント増	46.5	平成32年度目標値の達成に向け、中長期目標から各年度の目標を等差的に設定（毎年度1.1%改善）
	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
				根拠	
数値		52	32年度	88.3%	京プラン実施計画 第2ステージ
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：95%以上～100%未満 c：90%以上～95%未満 d：85%以上～90%未満 e：85%未満			達成度100%以上をa、以下5%刻みで基準を設定した。（27年度46.5％、28年度47.6％、29年度48.7％、30年度49.8％、31年度50.9％、32年度52.0％）		27
					28
					29
					-
					-
					b

政策名		17		保健衛生・医療				
指標名		65歳以上男性の日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合（％）						
担当部室		健康長寿のまち・京都推進室		連絡先		2 2 2－3 4 1 9		
1 指標の説明								
特定健診において、日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施していると回答した市民の割合								
2 指標の意味								
生活習慣の改善による健康づくりの成果を示す指標				3 算出方法・出典等				
				算出方法：京都市国民健康保険特定健康診査受診者実績から、日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施していると回答した市民の割合 出典：事業担当課調べ				
4 数値								
10年後の（平成32年度）目標値		平成23年度評価値	平成32年度目標値	根拠				
		57.5	66.0	京プラン実施計画 第2ステージ				
前回数値		最新数値		推移	単年度目標値			
26年度		27年度			数値	根拠		
数値		57.5	56.1	1.4ポイント減	58.9	平成32年度目標値の達成に向け、中長期目標から各年度の目標を等差的に設定（毎年度1.4%改善）		
全国順位		中長期目標			備考	京プラン実施計画 第2ステージに基づく指標に変更。データ公表時期の関係から、平成27年度数値が最新値となる。		
		数値	目標年次	達成度			根拠	
数値		66.0	32年度	85%			京プラン実施計画 第2ステージ	
5 評価基準								
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：95%以上～100%未満 c：90%以上～95%未満 d：85%以上～90%未満 e：85%未満				6 基準説明		7 評価結果		
				目標達成度100%以上をa、以下5%刻みで基準を設定した。（27年度58.9%、28年度60.3%、29年度61.7%、30年度63.1%、31年度64.5%、32年度66.0%）		27	28	29
						-	-	b

指標名		65歳以上女性の日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合（％）						
担当部室		健康長寿のまち・京都推進室		連絡先		2 2 2－3 4 1 9		
1 指標の説明								
特定健診において、日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施していると回答した市民の割合								
2 指標の意味								
生活習慣の改善による健康づくりの成果を示す指標				3 算出方法・出典等				
				算出方法：京都市国民健康保険特定健康診査受診者実績から、日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施していると回答した市民の割合 出典：事業担当課調べ				
4 数値								
10年後の（平成32年度）目標値		平成23年度評価値	平成32年度目標値	根拠				
		57.7	63.0	京プラン実施計画 第2ステージ				
前回数値		最新数値		推移	単年度目標値			
26年度		27年度			数値	根拠	達成度	
数値		57.7	55.3	2.4ポイント減	58.6	平成32年度目標値の達成に向け、中長期目標から各年度の目標を等差的に設定（毎年度0.9%改善）	94.4%	
全国順位		中長期目標			備考	京プラン実施計画 第2ステージに基づく指標に変更。データ公表時期の関係から、平成27年度数値が最新値となる。		
		数値	目標年次	達成度			根拠	
数値		63.0	32年度	87.8%			京プラン実施計画 第2ステージ	
5 評価基準								
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：95%以上～100%未満 c：90%以上～95%未満 d：85%以上～90%未満 e：85%未満				6 基準説明		7 評価結果		
				目標達成度100%以上をa、以下5%刻みで基準を設定した。（27年度58.6%、28年度59.5%、29年度60.4%、30年度61.3%、31年度62.2%、32年度63.0%）		27	28	29
						-	-	b